

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	国民体育大会開催事業		コード	担当課係
			03-02-06-16	担当者
事業実施期間	平成14年度～平成17年度			
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	スポーツ・レクリエーション		
	施策	スポーツ施設の整備・充実と有効活用		

事業について	
目的	国民体育大会会場として、テニス競技・アーチェリー競技・自転車ロードレース競技・デモンストレーションとしてのスポーツ行事を開催する。
対象(誰のために)	国民体育大会参加者及び国体ボランティア(市民スタッフ)
内容	備前・日生・吉永実行委員会への補助金交付及び会議の開催、広報啓発活動、競技・式典、宿泊・衛生、輸送・警備業務の実施

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
選手・監督	1,504人		
競技役員	478人		
競技補助員	663人		
市民ボランティア	634人		
観覧者(延べ)	10,016人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	110,575	国庫補助金等	61,400	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	61,750	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	172,325	市債		合計	0	市債	

必要人員	8.00	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	大会参加者・関係者	
	結果指標量	13,295	
	単位	人	
	対前年比	—	

結果指標②	結果指標名	大会参加者・関係者	
	結果指標量	13,295	
	単位	人	
	対前年比	—	

事業の成果			
成果指標名	競技補助員・ボランティア参加人数	式又は説明	市民参加の大会とするため、市内在住・在勤・在学の競技補助員・ボランティアを募り大会運営・競技運営を行う。
成果指標量	17年度 634		
到達目標値	—	到達目標年度	開催年度(平成17年)

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:	課題認識  市民総参加の大会とするため、市民一人一人が国体開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する気運を高めるため、市民運動推進及びボランティア募集、また市内中学校に於いて競技補助員・運営補助員講習会などを実施する。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	先催県の資料を参考に事業経費を算定するが、既存の施設、設備等を有効に活用するなど、コスト意識を持って事業に取り組む。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	43年ぶりに開催された国体において、多くの競技補助員・ボランティアとして市民が参加し、また歓迎装飾事業にも市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校に係っていただいたことは、市民総参加をモットーとした開催方針に沿った形となった。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	準備推進年次計画に基づき、ほぼ計画通りに実施できた。
評価区分	<A~E> <b>A</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。